

エコアクション21 環境経営レポート2024

活動対象期間 2024年4月1日～2025年3月31日
レポート発行日 2025年5月17日

エコシステム花岡株式会社
ECO-SYSTEM HANAOKA CO.,LTD

目次

1. はじめに	1
2. 基本要件	2
3. 理念と方針	3
4. エコシステム花岡について	4
5. 事業にかかわる施設等の状況	8
6. 環境経営目標	14
7. 環境活動	15
8. 代表者による全体評価と見直し結果	23
9. 今後の活動と目標	25

資源がめぐる真ん中に。

DOWA

1. はじめに

当社の目指す姿

当社は、日々の事業活動において、「1人ひとりが自ら考え、行動する」というスローガンのもと、法令遵守の意識を強く持ち、消費電力の削減や水質汚濁防止といった環境影響への対応を続けています。事業活動による環境影響の最小化は、企業が果たすべき当然の責任と考えています。

また、事業活動を通じて地球環境および社会に貢献することも、企業の責任として極めて重要であると認識しています。当社は、事業を通じて社会の環境リスクの低減に、様々な角度から深く貢献していきたいと考えています。例えば、廃棄物の中間処理事業のひとつである太陽光パネルのリサイクルは、銀や銅といった有用金属の回収を通じて限りある天然資源を再生し、資源の枯渇を防ぎます。最終処分事業は、廃棄物を安全安心に埋立管理することで、廃棄物を地球へ還元します。土壌浄化事業では、汚染土壌を除去することで対策地の地盤や地下水汚染を防ぐだけでなく、当社において、独自の技術を活用し土壌の汚染を取り除くことで、回収した土壌は資源としての有効活用を可能とします。

サービスの品質向上へ向け、社員全員が日々一歩一歩前進を続け、その結果いつの時代においても当社の事業活動が、社会の環境リスク低減や資源循環を通じて持続可能な社会の構築へ貢献していること、これが当社の目指す姿です。

経営資源を活かした環境社会貢献

地球上では人間活動の肥大化により、7つの地球環境問題（資源の枯渇、エネルギーの枯渇、生物多様性の劣化、食料の分配、水の分配、急激に増える人口、気候変動）を抱えています。

これらの社会課題に、企業が解決に向けた努力をしていくことは、社会の一員としての責務であり、企業が存続していくための大前提であると言えます。

当社は、エコアクション 21 認証の取得を通じ、事業活動に伴う環境負荷の低減に努めるとともに、事業を通じた環境貢献の取り組みを両輪として一層の活動を進めることとしました。

環境経営の実践、強化に向け PDCA サイクルに基づいた継続的な改善と向上に努めます。

エコシステム花岡株式会社
エコアクション 21 事務局

2. 基本要件

認証登録範囲

認証・登録番号	0013835
認証・登録年月日	2023 年 4月 13日
認証・登録事業者名	エコシステム花岡株式会社
対象事業活動	一般廃棄物最終処分業、産業廃棄物処分業(中間処理、最終処分)、特別管理産業廃棄物処分業、汚染土壌処理業

環境管理責任者

安全環境推進室長 吉 俊輔

対象組織の範囲

全組織を対象とする

編集方針

本レポートは、当社のエコアクション 21 活動報告として、また当社の活動実績を社会に広く情報公開するためのツールとして活用する目的で編集を行いました。同時に、環境経営に参加する全従業員が、活動の重要性を理解し活動を推進することを目的に発行しています。

3. 理念と方針

当社では、2022年9月1日、環境理念に基づく環境方針を制定しました。当社で働く一人ひとりがこの理念をしっかりと理解し、「環境経営方針」を実践することで、環境経営に取り組んでいます。

環境理念

エコシステム花岡株式会社は、社会が抱える様々な地球環境課題に対し、特色ある環境事業を通じてその解決を目指すとともに、持続可能な社会の実現と資源循環型社会の構築に貢献します。

環境経営方針

- (1) 環境関連の法令等を遵守し、社会的責任を果たします。
- (2) 当社の事業活動による環境負荷の低減に努めます。
- (3) 当社の事業活動を通じ地球環境の改善をはかります。
- (4) 環境経営にかかわる目標と計画を策定し実行を図るとともに、継続的な改善を行います。
- (5) 環境活動経営レポートを定期的に作成し、公表します。

2022年 9月 1日制定

エコシステム花岡株式会社
代表取締役社長 笹本 直人

4. エコシステム花岡について

当社は、花岡鉱業株式会社として、秋田県大館市(旧花岡町)において「黒鉱」の採掘と選鉱を行う鉱山会社として、同和鉱業株式会社(現・DOWA ホールディングス株式会社)より分離・独立するかたちで1986年に創業しました。今日では、廃棄物や土壌のリサイクルを通じた資源循環を行う会社、エコシステム花岡として各種事業を展開しております。

組織の概要

■ 名 称	エコシステム花岡株式会社
■ 代表者	代表取締役社長 笹本 直人
■ 資本金	3億円
■ 株 主	DOWA エコシステム株式会社 (100%)
■ 法人設立年月日	1986 年 9 月 16 日
■ 売上高	1,017 百万円 (2023 年度)
■ 所在地	(本社事務所) 〒017-0005 秋田県大館市花岡町字堤沢 42 TEL 0186-46-2311 FAX 0186-46-1651 (第1最終処分場) 〒017-0005 秋田県大館市花岡町字堤沢69 (第2最終処分場) 〒017-0005 秋田県大館市花岡町字滝ノ沢82 (松峰工場) 〒017-0005 秋田県大館市花岡町字大森山下 65-1 (堤沢工場) 〒017-0005 秋田県大館市花岡町字堤沢57-1

事業の領域

当社は、鉱山会社として長年培った技術を活かして、多様な方法で土壌の浄化を行い、使用済み太陽光パネルのリサイクルを含め、廃棄物を適正に処分または再資源化し、クリーンな最終処分場の運営・管理を行っています。

主要業務

当社の事業は、「企画部」、「環境事業部(資源リサイクル課・最終処分管理課)」、「総務部」の3組織体制のもと、質の高いサービスの提供に努めています。

事業と環境へのかかわり

私たちエコシステム花岡は、長年鉱山会社として人々の生活と産業の発展に貢献してきました。時代の流れに伴って地球環境の保全、資源循環型社会の構築に貢献するために、その事業内容を柔軟に変化させてまいりました。かつての鉱石露天掘りの跡地は管理型最終処分場へ、選鉱施設は土壌洗浄プラントとして生まれ変わりました。このように鉱山から始まった当社だからこそできる環境事業は、日々の研鑽を欠かさず、変わりゆく社会のニーズに応えます。

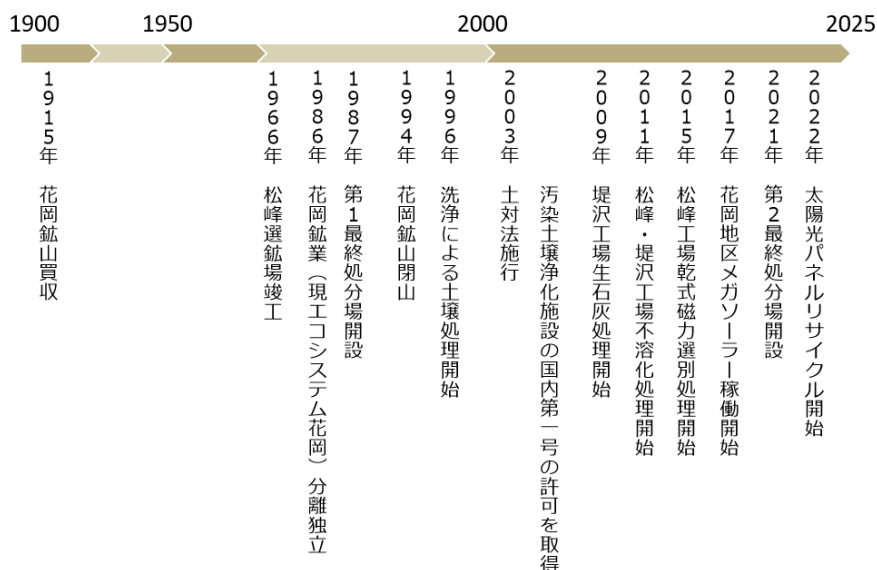


鉱山跡地の活用



環境保全に必要な、洗浄・分級・泡沫浮上・抽出等の技術は、いずれも鉱石から有価金属を濃縮するプロセス、いわゆる「選鉱」技術の応用です。エコシステム花岡は、世界でも有名な難処理鉱石「黒鉱」を処理するため高度な選鉱技術から発展させた様々なプロフェッショナル技術を、環境技術へと進化させ、国内最高レベルのソリューションをお届けしています。

選鉱技術の応用



環境経営体制

当社の環境経営体制の最上位責任者は代表取締役社長です。代表取締役社長より任命された環境管理責任者が、環境委員会の長として、エコアクション活動を管理・推進します。具体的な運営については、各部門から選任されたメンバーで構成したエコアクション 21 事務局が実施します。

■環境統括責任者

- 環境経営に関する統括責任
- 課題とチャンスの明確化
- 実施体制の構築
- 環境経営方針の策定・見直しと周知
- 環境経営目標・環境経営活動計画の承認
- 取組全般の評価と見直し実施・指示
- 環境経営レポートの承認

■環境委員会・環境管理責任者

- 環境経営システムの構築、運営管理
- エコアクション 21 活動の実施記録承認および環境統括責任者への報告
- エコアクション 21 事務局の統括

■エコアクション 21 事務局

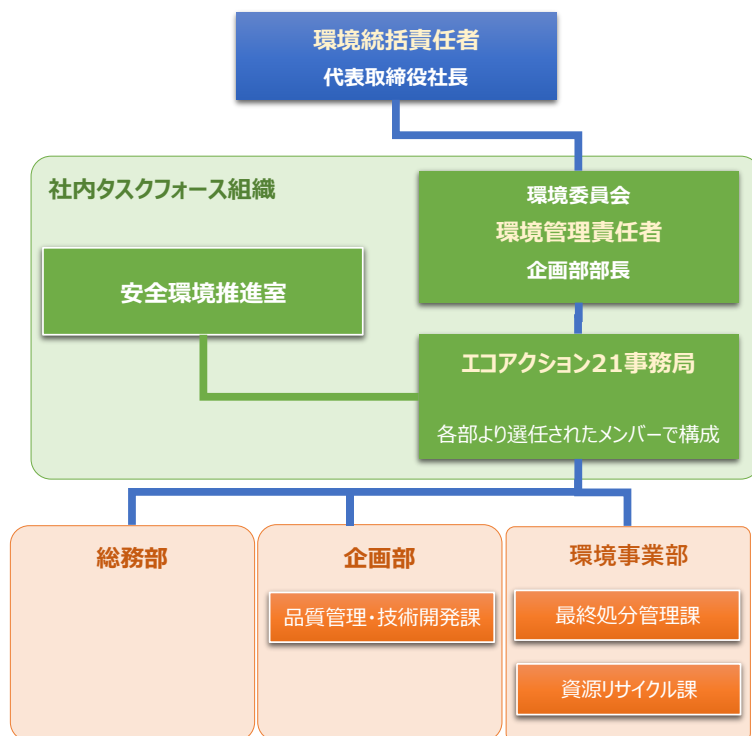
- 環境委員会の事務、取組、社員周知・教育
- 環境関連の外部コミュニケーション窓口
- 環境負荷の自己チェックおよび環境への取組の自己チェックの実施
- 環境経営レポート案の作成と公開

■安全環境推進室

- 環境関連法規の遵守状況の確認
- 関連環境法規のとりまとめと遵守、評価の実施、是正と予防措置の管理

■全従業員

- 環境経営方針の理解、積極的な環境活動への参加



【環境委員会】

定例会 年4回(四半期に1回) の他
活動状況に応じて随時開催

【エコアクション21事務局会議】

活動状況に応じて随時開催

【社内報告】

社内全体会議において報告
(年 1 回)

エコアクション 21 の活動について

当社では、「エコアクション 21 産業廃棄物処理業者向けガイドライン(2017 年度版)」に沿って以下の活動を進めています。

■事業を通じた環境負荷削減に関する活動

- (1) 事業活動へのインプットに関する項目
- (2) 事業活動からのアウトプットに関する項目

■事業を通じた地球環境・社会貢献に関する活動

- (3) 製品及びサービスに関する項目
- (4) その他に関する事項

環境経営システムにおいて上記の項目について継続的に取り組むことで、当社は環境や社会に貢献しながら企業価値を向上させてまいります。

(1) 事業活動へのインプットに関する項目

- 省エネルギー
- 省資源
- 水の効率的利用及び日常的な節水
- 化学物質使用量の抑制及び管理

(2) 事業活動からのアウトプットに関する項目

- 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止
- 廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理
- 排水処理の関係
- その他生活環境に係る保全の取組等

(3) 製品及びサービスに関する項目

- 製品及びサービスにおける環境配慮
- 当社サービスの品質・生産性の向上
- ワークライフバランスの推進

(4) その他の項目

- 各種環境配慮事項
- 環境コミュニケーション及び社会貢献
- 生物多様性の保全

5. 事業にかかわる施設等の状況

当社は大きく分けて、「廃棄物の処理施設」と「汚染土壌の処理施設」を保有しています。

廃棄物の処理施設

廃棄物の処理施設として、産業廃棄物の中間処理施設と最終処分場があり、最終処分場では産業廃棄物および一般廃棄物の受入を行っております。

(1)許可の状況

■産業廃棄物処分業 秋田県 許可番号 00541012296 号

許可年月日	許可の有効期限	業の区分	取り扱う産業廃棄物の種類
令和5年 11 月 20 日	令和12年 11 月 19 日	選別施設による中間処理	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉋さい、ばいじん
		破碎施設による中間処理	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉋さい
		埋立による最終処分	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉋さい、がれき類、ばいじん、13号廃棄物

■特別管理産業廃棄物処分業 秋田県 許可番号 00571012296 号

許可年月日	許可の有効期限	業の区分	取り扱う特別管理産業廃棄物の種類
令和 7 年 3 月 24 日	令和 11 年 3 月 17 日	その他施設による中間処理	汚泥、燃え殻、ばいじん ※許可証に記載された有害物質に限る

■一般廃棄物処分業 大館市 許可番号 指令環第 562 号

許可年月日	許可の有効期限	業の区分	取り扱う産業廃棄物の種類
令和 6 年 3 月 19 日	令和 8 年 3 月 31 日	最終処分	中間処理した焼却灰混練物及び焼却残渣物、溶融スラグ、災害廃棄物

(2)施設の状況

■中間処理施設

処理方式	処理する廃棄物の種類		(許可)処理能力	年間処理量(t)		
				2022 年度	2023 年度	2024 年度
破砕	(普通)産業廃棄物	鋳さい	872 t/日	0	0	0
		廃プラスチック類、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず	3.68 t/日	7	14	44
薬剤混練	(特管)特定有害産業廃棄物	燃え殻、汚泥、ばいじん	480t/日	-	-	1576.33
選別	(普通)産業廃棄物	汚泥、廃プラスチック類、鋳さい、金属くず、ばいじん、燃え殻	800 t/H	0	0	0

■最終処分場

名称	種 類	面 積(m ²)	容 量(m ³)	残容量(m ³)※1
第 1 最終処分場	管理型	95,000	1,957,600	10,966
第 2 最終処分場	管理型	45,841	1,083,954	1,053,110

処理方式	処理する廃棄物の種類		年間処理量(t)		
			2022 年度	2023 年度	2024 年度
最終処分	産業廃棄物	燃え殻	10,531	10,291	9591.63
		汚泥	11,679	12,379	8824.65
		廃プラスチック類	1	0	0
		ゴムくず	0	0	0
		金属くず	0	0	0
		ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	12	16	38.86
		鋳さい	5,292	5,983	142.87
		がれき類	0	0	0
		ばいじん	1	0	1606.79
		ばいじん・燃え殻	—	1,093	0
	一般廃棄物	中間処理した焼却灰混練物及び焼却残渣物	10,712	8,678	9784.07

※1 2025 年 3 月末時点

(3)処理フロー

●廃棄物の薬剤混練処理および最終処分

廃棄物の処分

評価・受入

安全に中間処理もしくは最終処分が行えるか確認するため、廃棄物の分析結果や実サンプルをいただき、事前評価を行って、お見積を提示します。廃棄物の発生場所から当社まで運搬は、トラックでの直送もしくは専用コンテナを利用した鉄道輸送を、当社の営業を行うDOWAエコシステム(株)がご要望に応じて手配します。



処理

廃棄物の中間処理は、事前評価試験に基づき安全に処理を進めます。中間処理後の産物は、各々の適正処理および再資源化のための品質を確認したうえで、これらを工場から搬出します。廃棄物については、焼却等への中間処理委託もしくは自社最終処分に加え一部廃棄物からは製錬原料(金属)の回収を行います。最終処分場へ到着した廃棄物は計量後、即日埋立を行います。埋立位置は、GPS測量機で計測し、記録します。



浸出水処理、モニタリング等

管理型最終処分場は、粘性土や専用の遮水シートなどにより、廃棄物からしみだす浸出水を、埋立地の外に出さない構造になっています。当社では、電気式の漏水検知システムを備えて漏水が無いことを常時確認し、定期的な地下水の水質確認も行なっています。浸出水は、排水処理設備で有機物や重金属類を取り除き、無害化したことを水質分析で確認した後、外部放流します。



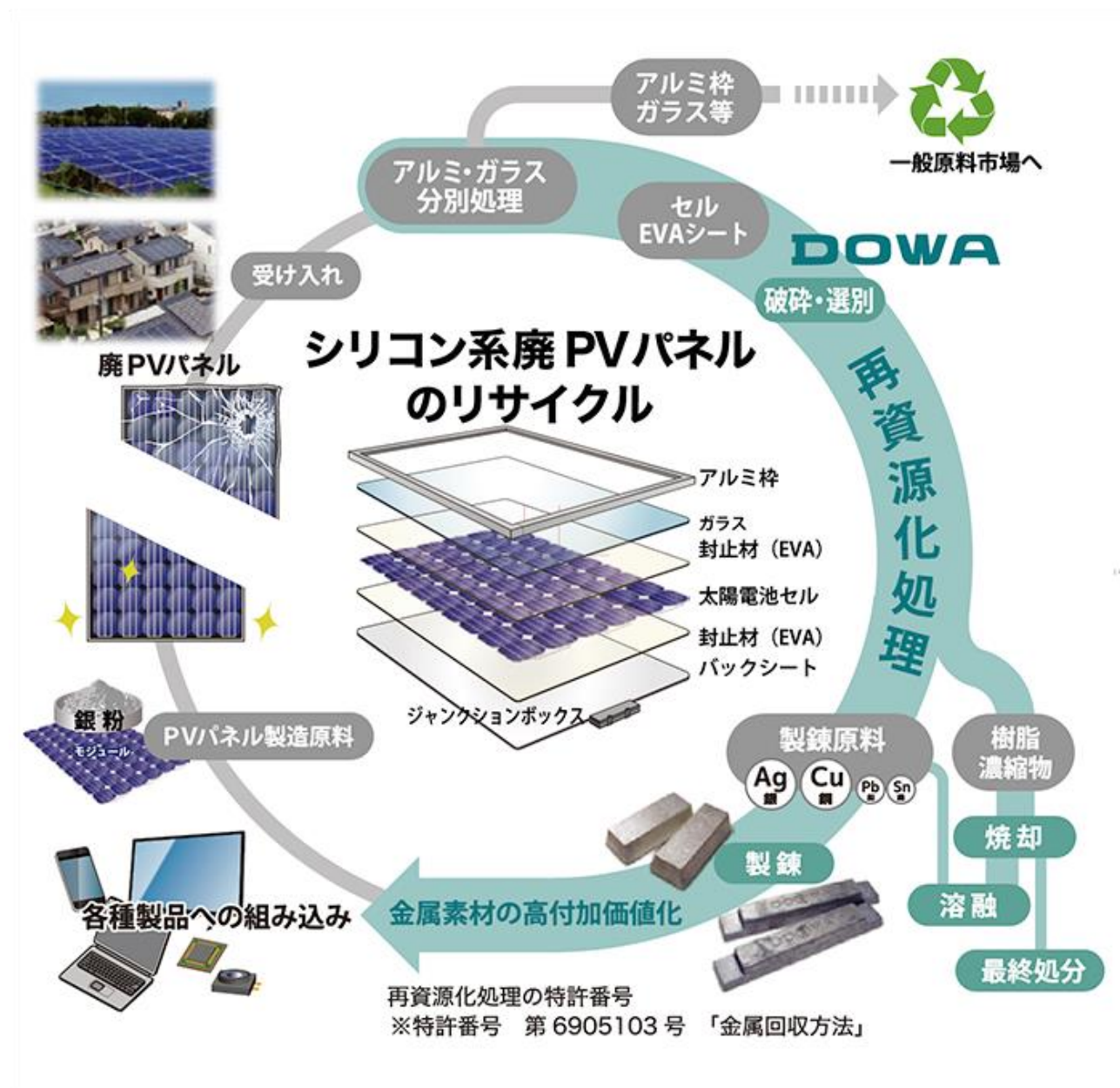
●中間処理(太陽光パネルリサイクル)

中間処理

当社で安全かつ適正に処理が行えるか確認するため、太陽光パネルの性状を確認した上で、工場へ受入します。。

受け入れた太陽光パネルはアルミフレーム、ジャンクションボックス、ガラスを脱離させ、残ったシート部分を破碎選別処理します。

金属部分、金属濃縮部分は製錬原料としてリサイクルされます。その他の部分はセメント原料や路盤材としてリサイクルされ、一部は最終処分されます。



汚染土壌の処理施設

当社は汚染土壌処理施設として、水を用いた洗浄や乾式の磁力選別による重金属分の分離回収、化学処理、生物処理、不溶化処理など、さまざまな処理プロセスで、多様な汚染に対応した浄化処理を行っています。

(1)許可の状況

許可番号 許可の有効期限	名 称	施設の種類	受入可能な 特定有害物質	処理能力
第 00510010102 号 令和 7 年 4 月 1 日	松峰工場	・浄化等処理施設 浄化(抽出—洗浄処理) 浄化(抽出—磁力選別) 浄化(不溶化) ・分別等処理施設 異物除去 含水率調整	水銀を除く第二種特定有害物質	・受入の濃度上限なし ・最大 100～200t/h (24 時間稼働) ※処理方法により処理能力は異なる
第 00510100101 号 令和 7 年 4 月 1 日	本社	・浄化等処理施設 浄化(抽出—化学脱着) 浄化(分解—化学処理) 浄化(分解—生物処理) 浄化(不溶化)	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質	・受入の濃度上限なし ・最大 100t/h, 548t/d(12 時間稼働)
		・埋立処理施設	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質	・受入は第2溶出量基準以下に限る < 第 1 最終処分場 > 面積 95,000m² 容量 1,957,600m³ < 第 2 最終処分場 > 面積 45,841m² 容量 1,083,954m³

(2)施設の状況

土壌処理実績(2024年度)

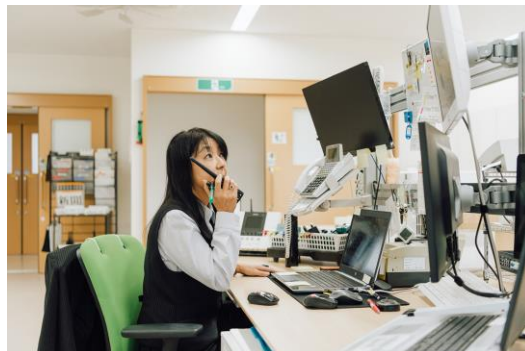
- ① 松峰工場 浄化等処理 24,442 t、 分別等処理 0t
- ② 本社 浄化等処理 4,690t(堤沢工場)、 埋立処理 15,690 t(第 1・2 最終処分場)

(3)処理フロー

評価・受入

土壌処理

最適な浄化方法を検討するため、汚染土壌の分析結果や実サンプルをいただき、事前評価を行って、お見積を提示します。汚染土壌の発生場所から当社までの運搬は、トラックでの直送もしくは専用コンテナを利用した鉄道輸送を、営業を行うDOWAエコシステム(株)がご要望に応じて手配します。



浄化等処理

当社は処理が極めて難しい複雑硫化鉱の選鉱を行ってきた技術と設備を活かした重金属の洗浄・抽出処理をはじめ、乾式の磁力選別による重金属分の分離回収、化学処理、生物処理、不溶化処理など、さまざまな処理プロセスで、多様な汚染に対応した浄化処理を行います。



浄化土の有効活用・埋立施設での管理

汚染物質を分離し浄化した土壌は、土木資材として広く活用し、DOWAグループが保有する土地の覆土材にも有効活用しています。重金属等を濃縮した土壌は最終処分場で埋立管理するほか、一部の土壌からは製錬原料（金属回収）を行っております。



6. 環境経営目標

制定日 2023/1/30

2022年度 ～ 2024年度

改定日 2023/3/13

要求項目	環境経営方針	項目	責任部門 責任者	削減率又は 増加率（％）	年度	2022年度	2023年度	2024年度	備考
				単位	基準値	目標値			
二酸化炭素排出量 の削減	省エネルギーの推 進	電力使用量の 削減	事務局 小畑	削減率（％）	2021	2	3	4	
				k W h	1,660,328	1,627,122	1,610,519	1,593,915	
		灯油使用量の 削減	事務局 小畑	削減率（％）	2021	1	2	3	
				L	1,110	1,099	1,088	1,077	
		ガソリン使用 量の削減	事務局 小畑	削減率（％）	2021	1	2	3	
				L	3,870	3,831	3,793	3,754	
	軽油使用量の 削減	事務局 小畑	削減率（％）	2021	1	2	3		
			L	73,964	73,224	72,485	71,745		
	二酸化炭素排出量 の削減	二酸化炭素排 出量の削減	事務局 小畑	削減率（％）	2021	1.0	2.0	3.0	
kg C O 2				1,215,267	1,195,211	1,183,058	1,170,905		
廃棄物排出量の削 減	一般廃棄物の削減	ごみの削減	総務部 畠山隆	削減率（％）	2021	・ 分別等、適正に管理 する。		・ 数量把握	
				kg	※ 1				
	産業廃棄物の削減 （自社分）	最終処分（埋 立）量の削減	資源リサイクル 課 花田	削減率（％）	2,021	・ 適正な廃棄物処理を行い、定期的 に確認する			
				t	※ 2				
水使用量の削減	節水	水道水使用量 の削減	総務部 畠山隆	削減率（％）	2021	1	2	3	
				m ³	1,216	1,204	1,192	1,180	
化学物質使用量の 削減		化学物質の管 理の推進	品質管理課 小畑	削減率（％）	2021	・ 化学物質の使用に際し、適正に管 理し、定期的に確認する。			
				kg	※ 3				
受託した産業廃棄 物・汚染土壌の収 集運搬・処分にお ける環境配慮		廃棄物処理	最終処分課 堀	増加率（％）	2021	・ 適正な廃棄物処理業務を推進し、 定期的に確認する。			
				件	※ 4				
		汚染土壌処理	資源リサイクル 課 花田	増加率（％）	2021	・ 適正な汚染土壌処理業務を推進 し、定期的に確認する。			
				件	※ 5				
その他の項目	地域貢献活動の推進	清掃活動等	事務局 小畑	増加率（％）	2021	10	15	20	
				件	1	1	1	2	

1、環境経営目標は、毎年度及び要求事項2～5の大きな変更時に見直しをする。

2、環境経営目標は、経営における課題とチャンスのうち、比較的短期に取組が必要と考えられる事項を考慮して策定する。

3、環境経営目標は、環境経営方針において環境への取組の重点分野とした事項を考慮して策定する。。

4、環境経営目標は、全従業員へ周知する。この書類は、エコアクション21事務局で保管する。

・購入電力の排出係数は、令和4年 環境省・経済産業省公表の算定方法・排出係数一覧の 東北電力(株)の係数 0.476 を使用した。

※1 数量管理していなかったため数量把握ができ次第、数値目標を設定する

※2、3、4、5 産業廃棄物、汚染土壌の入荷量に応じて変化するため数値目標は設定しない。

7. 環境活動

2024 年度の目標 及び 実績

2024 年度の目標 及び 実績について以下に示します。

評価の目安 ○:目標値を 達成、またはそれに準じる実績であったことを示す。

×:目標値に対して未達であったことを示す。

■事業を通じた環境負荷削減に関する活動

(1) 事業活動へのインプットに関する項目

活動項目		取組内容	サイト名	実施スケジュール	評価
事業活動のイン プットに 関する項 目	省資源	①事務用品のグリーン調達管理	全サイト	通年	○
		②名刺等のFSC切替		年度初め/通年	
		③文書の電子化（kintone等）		適宜	
		④裏紙の活用		通年	
		⑤使用済み封筒の再利用		通年	
		⑥1枚ベスト運動		通年	
	水の使用量の削減	①節水の表示（呼びかけ）	全サイト	通年	○
	燃料（ガソリン・ 軽油・灯油等）使 用量の削減	①社用車を順次エコカーに変更	全サイト	切替タイミング	×
		②エコドライブを心掛ける	全サイト	通年	
		③暖機運転は最低限にする	松峰・堤沢	通年	
			処分場	通年	
	化学物質使用量の 抑制及び管理	①評価試験を行い、適切な薬剤量で操業を行う	全サイト	通年	○
②薬剤使用量を把握、管理する		松峰	通年		
		処分場	通年		

(2) 事業活動からのアウトプットに関する項目

活動項目		取組内容	サイト名	実施スケジュール	評価
事業活動へのアウトプットに関する項目	二酸化炭素排出量の削減（操業）	①第1最終処分場の消費電力削減		通年	○
		原水の管理で曝気の調整をする（pH）	処分場		
		②第2最終処分場の消費電力削減		通年	
		原水の管理で曝気の調整をする（澱物）	処分場		
		③土壌処理施設の消費電力削減		通年	
		待機電力の削減のための設備更新、その他改善	松峰・堤沢		
	二酸化炭素排出量の削減（保全）	④廃棄物中間処理施設の消費電力削減		通年	○
		効率的な操業のための改善活動	太陽光パネル		
		①設備・機器の作業前点検	全サイト	通年	
	二酸化炭素排出量の削減（事務所）	②無理無駄の無い安定運転	全サイト	通年	
		③コンプレッサーのエア漏れ点検	松峰	通年	
			処分場	通年	
		④電力不要時、負荷遮断・変圧器の遮断（検討）	松峰	適宜	
	二酸化炭素排出量の削減（事務所）	①各事務所の空調の省エネ設定（夏26℃、冬24℃）	全サイト	通年	○
		②エコドライブを心掛ける	全サイト	通年	
		③不要照明の消灯	全サイト	通年	
	廃棄物等最終処分量の削減	①プリンターのトナーカートリッジの回収リサイクル	全サイト	通年	○
		②詰め替え可能性品の利用	全サイト	通年	
③段ボール再利用		全サイト	通年		

■事業活動を通じた地球環境・社会貢献に関する活動

(3) 製品及びサービスに関する項目

活動項目	取組内容	サイト名	実施スケジュール	評価
製品およびサービスに関する項目	受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	①浄化土壌の回収と有効活用	松峰 通年	○
		②法令違反ゼロ	全サイト 都度	
		③法令より厳しい設定の社内基準を守る	全サイト 通年	
	資格取得支援	①奨励金（報奨金）制度	全サイト 都度	○
		②情報提供	業務面談時	
		③勉強会の開催	月1	
	ワークライフバランスの向上	①有給取得率の向上	全サイト 月1呼びかけ	○
		②所定外在社時間の短縮	全サイト 月1呼びかけ	
	緊急時対応及び訓練	①緊急時対応訓練	全サイト 安全週間、衛生週間	○
		②BCP計画の更新/社員周知	年度内1回	
	法令遵守	①遵法教育の実施	全サイト 月1	○
		②法令違反ゼロ	通年	
		③法令より厳しい設定の社内基準を守る（モニタリング）	通年	

(4) その他に関する事項

活動項目	取組内容	サイト名	実施スケジュール	評価
その他	ボランティア活動の実施	①長木川クリーンアップへの参加	全サイト 4月	○
		②地域清掃活動	全サイト 10月	
		③高齢者へのお弁当配布	通年（月1）	
	事業活動の外部公開	①工場見学の受入	全サイト 通年	○
		②高校生インターン受入	全サイト 都度	
		③展示会等への参加	全サイト 都度	
	生物多様性保全活動の推進	①生物生息環境の創出と維持管理	全サイト 通年	○
		②希少種の生息確認	全サイト 通年	
		③情報公開	全サイト 年1	

当社の環境負荷データについて

■対象期間 2024年4月1日～2025年3月31日

■温室効果ガス排出量

・ 排出係数 東北電力 0.000476 t-CO₂/kWh(令和2年度実排出係数)

軽油 0.00258622 t-CO₂/L

ガソリン 0.00232166 t-CO₂/L

灯油 0.00248826 t-CO₂/L

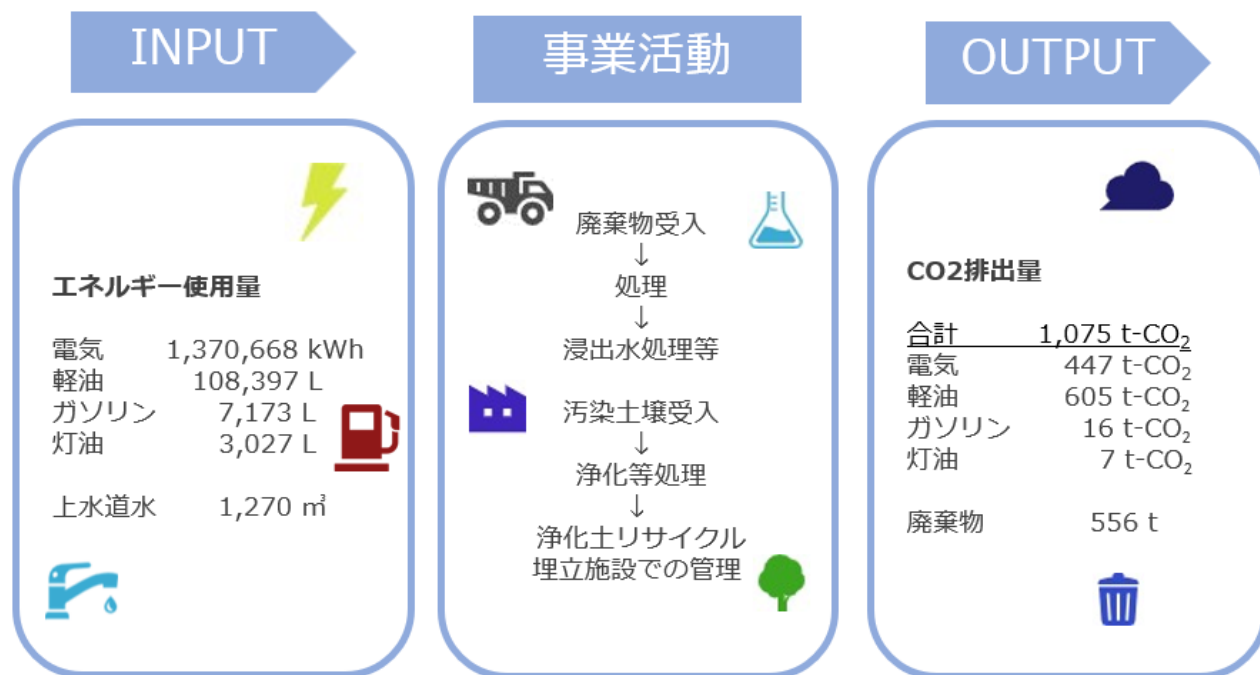
都市ガス 0.00226688 t-CO₂/m³



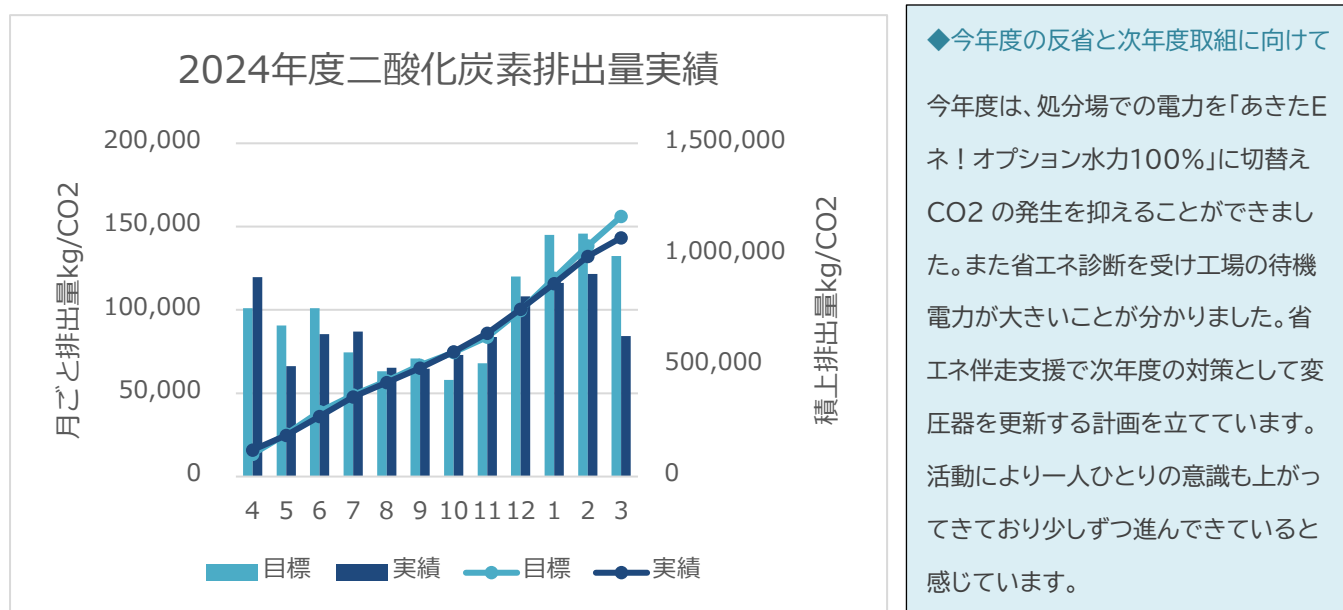
環境負荷の削減に関する評価

事業活動における 2023 年度の環境負荷の現状は以下の通りです。

(1) マテリアルフロー



(2) 環境負荷の推移



環境経営目標の実績

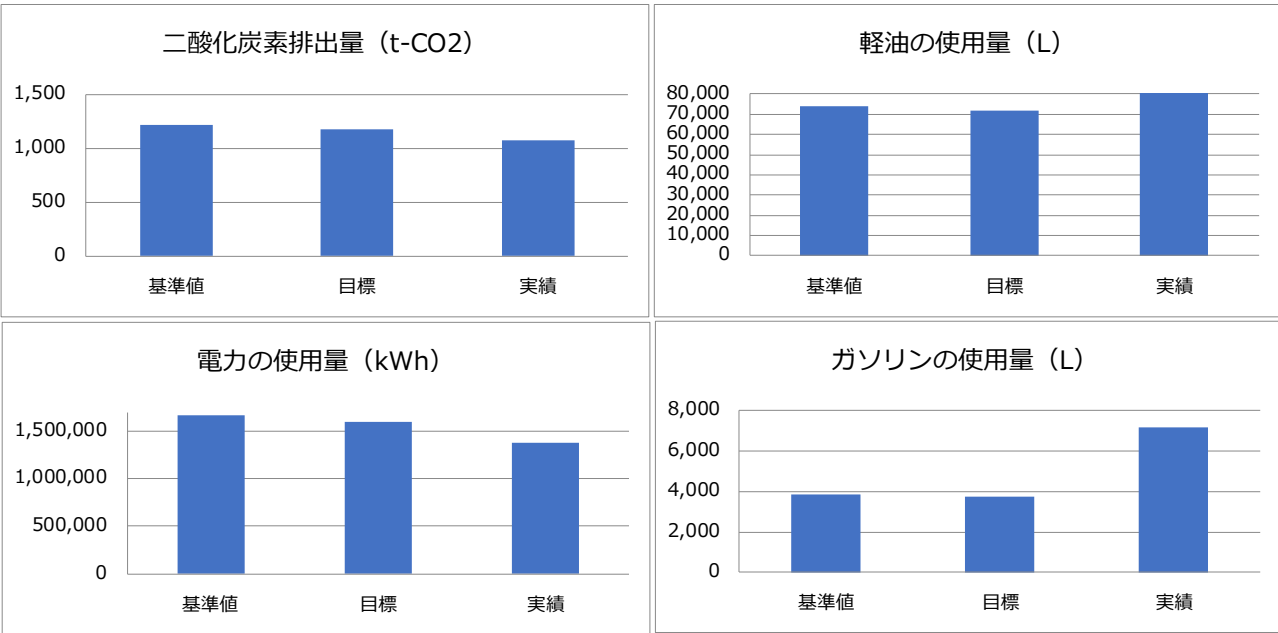
環境経営目標の達成状況について、2024年度の実績については、表の通りです。基準年に対し操業のメニューが増加し、それに伴い燃料使用量が増えておりますが、水力100%電力への切替えと節電活動により二酸化炭素排出量は基準年から12%削減できました。

コア指標	環境方針	環境目標項目	単位	基準値 2021年度※	2024年度			環境目標 達成状況
					削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
二酸化炭素排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	kWh	2021 1,660,328	4%削減	1,593,915	1,370,668	達成
		灯油の削減	L	2021 1,110	3%削減	1,077	3,027	未達成
		ガソリンの削減	L	2021 3,870	3%削減	3,754	7,173	未達成
		軽油の削減	L	2021 73,964	3%削減	71,745	108,397	未達成
	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	kgCO ₂	2021 1,215,267	3%削減	1,170,905	1,075,218	達成
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	ごみの削減	t	2021 ※ 1	・分別等、適正に管理する。		0.4	達成
	産業廃棄物の削減(自社分)	最終処分(埋立)量の削減	t	2021 ※ 2	適正な廃棄物処理を行い、定期的に確認する。			達成
水使用量	節水	節水	m ³	2021 1,216	3%削減	1,180	1,270	未達成
化学物質		化学物質の管理推進	kg	2021 ※ 3	化学物質を使用する場合は、漏洩等が無いよう適正に管理し、定期的に確認する。			達成
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		廃棄物処理・汚染土壌処理		2021 ※ 4	適正な廃棄物・汚染土壌処理業務を推進し、定期的に確認します。			達成
その他	地域貢献活動の推進	清掃活動等	増加率(%)	2021				
			件数	1		2	2	達成

購入電力の排出係数は、令和元年度実績 R2.1,7環境省・経済産業省公表 東北電力㈱の係数0.476を使用した

※ 1 数量管理は困難のため数値目標は設定しない。分別等、適正に管理を行う。

※ 2、3、4 産業廃棄物、汚染土壌の入荷量に応じて変化するため数値目標は設定しない。



環境関連法規等の遵守状況

当社の事業活動に関連する環境関連法規・条例及び その他の規制を受ける事項を下記に示します。
2024 年 11 月に法改正 及び 各事項の法遵守状況を整理した結果、環境関連法規に関する違反はありませんでした。また、関連機関や地域からの指摘や苦情もありませんでした。

法規制等	対象設備、施設	適用される事項	担当部署	確認	確認日
大気汚染防止法	コンベア、破砕機、堆積場	設備の設置、新設、廃止、変更時の届出	安環室	○	2024/11/28
水質汚濁防止法	第2最終処分場浸出水	排出基準の遵守	第2処分場	○	2024/11/28
	特定施設の設置、新設、廃止	設備の新設時の届出(環技研、ジオテクノス 含め)	安環室	○	2024/11/28
浄化槽法	各施設	浄化槽設置、使用開始等の届出 設備の保守点検、清掃	総務	○	2024/11/28
土壌汚染対策法	松峰工場	汚染土壌の処理業に関するガイドライン	全員	○	2024/11/28
	第1、第2最終処分場	汚染土壌の処理業に関するガイドライン	全員	○	2024/11/28
	各土壌処理施設	汚染土壌の処理業に関するガイドライン	全員	○	2024/11/28
化管法	排水処理施設	PRTRのインターネット提出	安環室	○	2024/11/28
	製品	SDSの発行(PVの売却物、一廃金属回収物)	品管	○	2024/11/28
PCB廃棄物処理特別措置法	全社	適正業者への排出	排出部署	○	2024/11/28
消防法	PV	指定可燃物の最大貯蔵量遵守	資源	○	2024/11/28
	各施設	消火設備の点検	全員	○	2024/11/28
水銀汚染防止法	各土壌処理施設照明	保守点検、排水分析、廃棄時法令遵守	全員	○	2024/11/28
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	各最終処分場	維持管理項目	全員	○	2024/11/28
	各中間処理施設	維持管理項目	全員	○	2024/11/28
	委託業者	委託契約書	全員	○	2024/11/28
	委託業者	マニフェスト管理	全員	○	2024/11/28
フロン排出抑制法	エアコン室外機	機器の自主点検、管理	全員	○	2024/11/28
鉱山保安法	第1最終処分場浸出水放流先	排水基準	全員	○	2024/11/28
大館市環境保全条例	第1、第2最終処分場、松峰工場	環境モニタリング結果報告(月1回)	全員	○	2024/11/28
大館市土壌搬入協議要綱	第1、第2最終処分場、松峰工場	事前協議(都度)、土壌処理量報告(月1回)	全員	○	2024/11/28
労働安全衛生法	全社	労働安全衛生法	全員	○	2024/11/28
騒音・振動規制法	全施設	規制区域外	全員	○	2024/11/28
悪臭防止法	全施設	規制区域外 指定物質の使用時に注意が必要	全員	○	2024/11/28

各種活動に関する評価

事業活動を通じた活動として、2024 年度の主な取組は次の通りです。

(1) 製品およびサービスに関する項目

■資格取得

年度初めに資格取得や講習会受講の計画を立て、取組んでいます。難しい資格は勉強会を開催して、士気を高めあっています。



2024 年度の危険物乙四合格者

2024 年度 資格追加取得状況

危険物乙四 2 名
第 1 種衛生管理者 1 名
玉掛け 1 名
特定化学物質及び四アルキル鉛 3 名
フォークリフト 1 名
刈払機 1 名
クレーン運転 1 名
酸欠・硫化水素 1 名
化学物質管理者 2 名
可搬形発電機取扱者 2 名
フルハーネス 1 名
その他研修多数受講

■緊急時対応および訓練

2024 年度は計 3 回の緊急時対応に関係する訓練を実施しました。4 月には酸欠救助訓練を行いました。7 月の熱中症対応訓練 10 月の漏洩想定訓練はそれぞれ 3 拠点で開催し、ほぼ全員が訓練に携わることができました。そのほか 7 月の VR 危険体感では、経験の浅い社員で体験しています。



漏洩想定訓練の様子



酸欠救助訓練の様子

(2) その他の項目

■ボランティア活動の実施

地域貢献活動として、4 月には「長木川クリーンアップ大作戦」に参加、10 月には地域の清掃活動を行いました。



長木川クリーンアップ大作戦



地区の清掃活動の様子

■事業活動の外部公開



花岡小学校全校児童の見学受入



太陽光パネルリサイクル工場 テレビ取材の様子

ホームページ

<https://www.dowa-eco.co.jp/EHN/>

優良さんばいナビ

<https://www3.sanpainet.or.jp/chukan2/company/012296/>

女性の活躍推進企業データベース

<https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb/detail?id=41130>

■生物多様性保全活動の推進

①希少植物の保全活動

2023 年度に実施した当社事業用地内の希少植物調査において、希少植物の1種である「タコノアシ」の自生地を新たに発見しました。このタコノアシについて本自生地内での保全を進めるべく、自生地の植生管理(周辺のササ類、ヤナギ類、ヨシ、セイタカアワダチソウ等の除去)を行いました。2023 年度は 82 株であったタコノアシは、2024 年度は 98 株まで増加し、自生地内での生育を確認しております。自生地の維持のため次年度も植生管理を継続します。



結実したタコノアシ
(2024 年 10 月 25 日撮影)



自生地内での植生管理後の状況(年3回実施)

名 称	タコノアシ
区 分	環境省レッドリスト NT:準絶滅危惧種 秋田県レッドリスト VU:絶滅危惧Ⅱ類
分 布	本州～奄美大島、 東アジアに広く分布。
生 態	泥湿地、沼、水田、 川原などで水位の変 動する場所に多い。 花期は 8～10月。

②生物生息環境の創出と維持管理

2022 年度に造成した第 2 ビオトープ池について、造成後移植したタチコウガイゼキショウおよびイグサの定着を確認しました。2022年秋に播種し、2023年度は発芽が確認されなかった「タコノアシ」について、2024 年度に発芽が確認され、結実が確認されました。事業用地内の自生地とともに、第2ビオトープ池においてもタコノアシの生育を進めます。一方で、2023 年度に定着を確認した「イトモ」について、2024 年度は池内での繁茂が確認出来ませんでした。このため、秋期に再度、イトモの殖芽を播種しています。2025 年度は、第2ビオトープ池の管理を継続するとともに、第1ビオトープ池を加えて、2つの地点で水生生物を中心とした生物調査を行う計画です。



第 2 ビオトープ池の現況



第 2 ビオトープ池で結実したタ
コノアシ



希少種であるイトモ(殖芽)の再
移植

8. 代表者による全体評価と見直し結果

全体評価

当社の主たる事業は廃棄物の埋立処理と汚染土壌の浄化である。加えて 2023 年度に廃棄物からの金属回収、廃棄太陽光パネルのリサイクル、2024 年度に産業廃棄物中間処理の混練りを開始し、「資源循環」に関連する事業が拡大しつつある。当社の事業そのものが環境負荷の低減を図ること、地球環境の改善に役立つものと考えており、今後も事業活動を通じた様々な取り組みを進めていく。

当社は、2022 年度より環境経営プログラムを導入し、エコアクション 21 に関する活動をスタートさせた。この活動を通じて、社員一人ひとりの環境保全等への意識を一層と高め、各活動の日常業務への定着化を目指す。

各活動の評価と見直し

(1)環境経営方針と実施体制

環境理念と環境経営方針は全社員に周知され、実施体制は有効に機能していると考える。方向性に問題なく現行のままとする。

(2)環境経営目標 及び 環境経営計画

2024 年度は 2023 年度に引き続き、コロナ禍で事業活動が縮小した時期を基準年にしたことによる影響及び季節的要因が影響する項目以外は目標を達成、環境関連法規の違反などは従前どおり全くなかった。特記事項を以下に示す。

- ① 電力使用に伴う二酸化炭素排出量は、節電活動及び最終処分場の契約電力を水力 100%に切り替えたことにより減少した。灯油・ガソリン・軽油の使用量は増加した。事業拡大により冬季の暖房箇所が増加したこと、外出用件の増加、重機の稼働増加が影響した。
- ② 廃棄物からの金属回収は 2023 年度と同様に計画量を実施できた。廃棄太陽光パネルのリサイクル取扱量は前年より増加した。
- ③ 自社廃棄物の削減を目的に、土壌搬入に使用された後に廃棄されるフレコンバッグをリサイクル会社向けに搬出開始した。
- ④ 関連法規の違反、クレームはなく遵守状況は良好。毎月の社員への遵法教育も計画通り実施した。
- ⑤ 社員教育は年間計画を作成し、それに従って行われた。通信教育、資格取得に対する支援も行った。社員の意欲は高いと認められる

- ⑥ ワークライフバランスの向上にかかる有休取得率は前年度を上回った。所定外在社時間短縮は進み前年より改善した。
- ⑦ 社員訓練では、緊急時訓練として酸欠救助・熱中症対応・漏洩対応、安全訓練として VR 危険体感などを実施した。今後も各種訓練を繰り返していく。
- ⑧ 奉仕活動では清掃活動、高齢者への弁当配布を継続した。会社周辺の道路清掃はグループ会社からも多数参加で行われた。
- ⑨ 事業活動の外部公開として廃棄物及び汚染土壌の排出者による工場視察は随時受け入れした。学生の工場見学、インターン受入れも随時行った。

事業活動を通じて地球環境の改善に寄与していくこととし、目標達成に向けて更に有効な策を検討し推進していく。

エコシステム花岡株式会社
代表取締役社長 笹本 直人

9. 今後の活動計画と目標

2025 年度の目標と活動計画

2025 年度のエコアクションの活動計画と目標を表のとおり決めました。

(1) 事業活動へのインプットに関する項目

活動項目		取組内容	サイト名
事業活動のインプットに関する項目	省資源	①事務用品のグリーン調達管理	全サイト
		②名刺等のFSC切替	
		③文書の電子化（kintone等）	
		④裏紙の活用	
		⑤使用済み封筒の再利用	
		⑥ 1 枚ベスト運動	
	水の使用量の削減	①節水の表示（呼びかけ）	全サイト
	燃料（ガソリン・軽油・灯油等）使用量の削減	①社用車を順次エコカーに変更	全サイト
		②エコドライブを心掛ける	
		③暖機運転は最低限にする	松峰工場、堤沢工場、第2最終処分場
	化学物質使用量の抑制及び管理	①評価試験を行い、適切な薬剤量で操業を行う	松峰工場、堤沢工場
		②薬剤使用量を把握、管理する	松峰工場、堤沢工場、第2最終処分場

(2) 事業活動からのアウトプットに関する項目

活動項目		取組内容	サイト名
事業活動へのアウトプットに関する項目	二酸化炭素排出量の削減（操業）	①第1最終処分場の消費電力削減	第1最終処分場
		原水の管理で曝気の調整をする（pH）	
		②第2最終処分場の消費電力削減	第2最終処分場
		原水の管理で曝気の調整をする（澱物）	
		③土壌処理施設の消費電力削減	松峰工場、堤沢工場
		待機電力の削減のための設備更新、その他改善	
		④廃棄物中間処理施設の消費電力削減	松峰工場（PV施設）
	二酸化炭素排出量の削減（保全）	効率的な操業のための改善活動	
		①設備・機器の作業前点検	全サイト
		②無理無駄の無い安定運転	
		③コンプレッサーのエア漏れ点検	
		④電力不要時、負荷遮断・変圧器の遮断（検討）	
	二酸化炭素排出量の削減（事務所）	①各事務所の空調の省エネ設定（夏26℃、冬24℃）	全サイト
		②エコドライブを心掛ける	
		③不要照明の消灯	
	廃棄物の削減	①プリンターのトナーカートリッジの回収リサイクル	全サイト
		②詰め替え可能性品の利用	
		③段ボール再利用	

(3) 製品及びサービスに関する項目

活動項目		取組内容	サイト名
製品およびサービスに関する項目	受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮に関する	①浄化土壌の回収と有効活用	松峰工場、堤沢工場
		②法令違反ゼロ	全サイト
		③法令より厳しい設定の社内基準を守る	全サイト
	資格取得支援	①奨励金（報奨金）制度	全サイト
		②情報提供	
		③勉強会の開催	
	ワークライフバランスの向上	①有給取得率の向上	全サイト
		②所定外在社時間の短縮	
	緊急時対応及び訓練	①緊急時対応訓練	全サイト
		②BCP計画の更新/社員周知	
	法令遵守	①遵法教育の実施	全サイト
		②法令違反ゼロ	
		③法令より厳しい設定の社内基準を守る	

(4) その他に関する事項

活動項目		取組内容	サイト名
その他	ボランティア活動の実施	①長木川クリーンアップへの参加	全サイト
		②地域清掃活動	
		③高齢者へのお弁当配布	
	事業活動の外部公開	①工場見学の受入	全サイト
		②高校生インターン受入	
		③展示会等への参加	
	生物多様性保全活動の推進	①生物生息環境の創出と維持管理	第2最終処分場
		②希少種の生息確認	
		③情報公開	



■本レポートについての問い合わせ先

エコシステム花岡株式会社 エコアクション 21 事務局
〒017-0005 秋田県大館市花岡町字大森山下 65-1
TEL 0186-46-2851 FAX 0186-46-1305

URL <https://www.dowa-eco.co.jp/EHN/>